

講義名	品質管理論					授業形態	
担当教員	持田 信治	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3 時限				
		単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード	MAN382

主題と概要
本講義はものづくりやサービスにおける品質を理解することを主題とする。更に本講義の主題は本学のディプロマポリシーに沿って、企業経営や組織行動に就いて発生する課題や問題に対する、論理的な思考に基づいた具体的な改善策や解決策の提案ができるようになることであるものづくりやサービスに於いて品質の確保は最重要課題である。そこで、本講義では品質の定義及び考え方の説明を行い、品質の管理と維持方法について説明する。加えて本講義は品質管理検定 3 級、4 級程度の実力を身につけることを目標とする。

到達目標
本講義はパソコンを使用した対面授業を前提としている。但し、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には自宅のパソコンを使用した課題を提示する。 以下を本講義の到達目標とする。 （１）品質と品質管理について説明できるようになる。 （２）品質の維持、改善のための手法を活用できる。 （３）品質の維持、改善活動の計画と実行ができる。 （４）品質管理検定 3 級、4 級検定に対応できる実力を身につける

提出課題
講義の終わりに当該講義に関する小テストを行うことがある。 また、講義内容に関するレポートの提出を要求することがある。 小テスト及び課題の提示と回収は R E S P O N D により行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
課題に対する評価や質問に対しては、必要に応じて次の講義で解説と説明を行う。

評価の基準
（１）評価は講義への参加度合いと課題の提出状況により算出する。 （２）授業参加度と小テストが 5 0 点、そして試験又は課題を 5 0 点で評価する。 （３）課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。 （４）授業参加度の確認と小テスト及び課題の提示と回収は R E S P O N D により行う。

履修にあたっての注意・助言他
（１）授業の運用方法、評価基準、受講ルール等の重要事項を初回の授業で説明するので、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。 （２）筆記用具を準備しておくこと。 （３）講義中の私語、飲食、カバンや飲食物を机の上に並べること及び途中入室、途中退室、携帯電話の使用は厳禁とする。ルール違反者は厳重に対応する。場合によっては退室を命じることもある。 （４）講義においては質問を行う等の積極的な参加を期待する。 （５）ポータルに資料がUPされている時は事前に確認しておくこと （６）講義への積極的な参加を希望する、また講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

教科書					
・使用しない。・					
参考図書					

その他
必要に応じて、プリント又は教材を配布する。加えて品質検定 4 級の手引き（品質管理検定センター）を配布する。

授業計画
第 1 回ものづくりと品質について 予習：キャンパスクロスにUPされた資料、シラバス並びにUPされた資料上のポイントを確認する（120分）。テキストは1回目に配布する。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 2 回品質と品質マネジメント 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 3 回工程プロセス 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 4 回4つの問題解決方法 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 5 回データ分析の基礎 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 6 回6つの考え方：分析方法（パレート図） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 7 回7つの考え方：分析方法（特性要因図） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 8 回8つの考え方：分析方法（ヒストグラム） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 9 回9つの考え方：分析方法（正常分布） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 0 回の考え方：分析方法（散布図） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 1 回の考え方：分析方法（ブレンドアローダイアグラム） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 2 回の考え方：分析方法（POTとアローダイアグラム） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 3 回の考え方：分析方法（正常分布） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 4 回の考え方：分析方法（正常分布） 予習：シラバス並びにテキストを確認して、講義テーマのポイントを把握する。疑問があればまとめておく（120分）。 復習：講義中は講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。 第 1 5 回まとめ 予習：シラバスやテキストを確認して、これまでの講義内容まとめる。疑問や質問があればまとめておく（120分）。 復習：まとめの内容について、講義ノートを取ることで、講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。復習では演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する（120分）。

第1回	目的・目標について
第2回	第1回の振り返りと学習の進捗確認
第3回	第2回の振り返りと学習の進捗確認
第4回	第3回の振り返りと学習の進捗確認
第5回	第4回の振り返りと学習の進捗確認
第6回	第5回の振り返りと学習の進捗確認
第7回	第6回の振り返りと学習の進捗確認
第8回	第7回の振り返りと学習の進捗確認
第9回	第8回の振り返りと学習の進捗確認
第10回	第9回の振り返りと学習の進捗確認
第11回	第10回の振り返りと学習の進捗確認
第12回	第11回の振り返りと学習の進捗確認
第13回	第12回の振り返りと学習の進捗確認
第14回	第13回の振り返りと学習の進捗確認
第15回	第14回の振り返りと学習の進捗確認
第16回	第15回の振り返りと学習の進捗確認
第17回	第16回の振り返りと学習の進捗確認
第18回	第17回の振り返りと学習の進捗確認
第19回	第18回の振り返りと学習の進捗確認
第20回	第19回の振り返りと学習の進捗確認
第21回	第20回の振り返りと学習の進捗確認
第22回	第21回の振り返りと学習の進捗確認
第23回	第22回の振り返りと学習の進捗確認
第24回	第23回の振り返りと学習の進捗確認
第25回	第24回の振り返りと学習の進捗確認
第26回	第25回の振り返りと学習の進捗確認
第27回	第26回の振り返りと学習の進捗確認
第28回	第27回の振り返りと学習の進捗確認
第29回	第28回の振り返りと学習の進捗確認
第30回	第29回の振り返りと学習の進捗確認
第31回	第30回の振り返りと学習の進捗確認
第32回	第31回の振り返りと学習の進捗確認
第33回	第32回の振り返りと学習の進捗確認
第34回	第33回の振り返りと学習の進捗確認
第35回	第34回の振り返りと学習の進捗確認
第36回	第35回の振り返りと学習の進捗確認
第37回	第36回の振り返りと学習の進捗確認
第38回	第37回の振り返りと学習の進捗確認
第39回	第38回の振り返りと学習の進捗確認
第40回	第39回の振り返りと学習の進捗確認
第41回	第40回の振り返りと学習の進捗確認
第42回	第41回の振り返りと学習の進捗確認
第43回	第42回の振り返りと学習の進捗確認
第44回	第43回の振り返りと学習の進捗確認
第45回	第44回の振り返りと学習の進捗確認
第46回	第45回の振り返りと学習の進捗確認
第47回	第46回の振り返りと学習の進捗確認
第48回	第47回の振り返りと学習の進捗確認
第49回	第48回の振り返りと学習の進捗確認
第50回	第49回の振り返りと学習の進捗確認
第51回	第50回の振り返りと学習の進捗確認
第52回	第51回の振り返りと学習の進捗確認
第53回	第52回の振り返りと学習の進捗確認
第54回	第53回の振り返りと学習の進捗確認
第55回	第54回の振り返りと学習の進捗確認
第56回	第55回の振り返りと学習の進捗確認
第57回	第56回の振り返りと学習の進捗確認
第58回	第57回の振り返りと学習の進捗確認
第59回	第58回の振り返りと学習の進捗確認
第60回	第59回の振り返りと学習の進捗確認
第61回	第60回の振り返りと学習の進捗確認
第62回	第61回の振り返りと学習の進捗確認
第63回	第62回の振り返りと学習の進捗確認
第64回	第63回の振り返りと学習の進捗確認
第65回	第64回の振り返りと学習の進捗確認
第66回	第65回の振り返りと学習の進捗確認
第67回	第66回の振り返りと学習の進捗確認
第68回	第67回の振り返りと学習の進捗確認
第69回	第68回の振り返りと学習の進捗確認
第70回	第69回の振り返りと学習の進捗確認
第71回	第70回の振り返りと学習の進捗確認
第72回	第71回の振り返りと学習の進捗確認
第73回	第72回の振り返りと学習の進捗確認
第74回	第73回の振り返りと学習の進捗確認
第75回	第74回の振り返りと学習の進捗確認
第76回	第75回の振り返りと学習の進捗確認
第77回	第76回の振り返りと学習の進捗確認
第78回	第77回の振り返りと学習の進捗確認
第79回	第78回の振り返りと学習の進捗確認
第80回	第79回の振り返りと学習の進捗確認
第81回	第80回の振り返りと学習の進捗確認
第82回	第81回の振り返りと学習の進捗確認
第83回	第82回の振り返りと学習の進捗確認
第84回	第83回の振り返りと学習の進捗確認
第85回	第84回の振り返りと学習の進捗確認
第86回	第85回の振り返りと学習の進捗確認
第87回	第86回の振り返りと学習の進捗確認
第88回	第87回の振り返りと学習の進捗確認
第89回	第88回の振り返りと学習の進捗確認
第90回	第89回の振り返りと学習の進捗確認
第91回	第90回の振り返りと学習の進捗確認
第92回	第91回の振り返りと学習の進捗確認
第93回	第92回の振り返りと学習の進捗確認
第94回	第93回の振り返りと学習の進捗確認
第95回	第94回の振り返りと学習の進捗確認
第96回	第95回の振り返りと学習の進捗確認
第97回	第96回の振り返りと学習の進捗確認
第98回	第97回の振り返りと学習の進捗確認
第99回	第98回の振り返りと学習の進捗確認
第100回	第99回の振り返りと学習の進捗確認

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
現代の企業経営に品質の保持は不可欠であり、品質とはばらつかないことである。そこで、本講義は品質をマネジメントや問題解決手法から考える。従って、本講義を履修することにより本学のディプロマポリシーに於ける、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決能力を品質管理の面から身に付けることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」 過去のプロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、製品とサービスに於ける品質と顧客の関係理解に向けたポイントを解説する。

備考
問題意識を持って講義に参加すること。